

1月19日

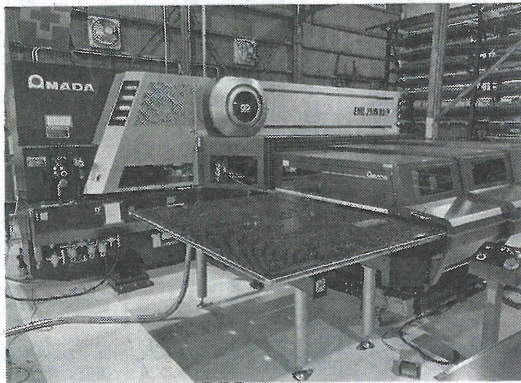
2023年
(令和5年)
木曜日
第20215号(日刊)
土・日曜・祝日は休刊

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

2022年12月 アマダ製のファイバーレーザーパンチング複合機「EML-2515A」を明石第2工場に導入しました！

新たに導入したファイバーレーザーパンチング複合機



パンチングメタル(打抜金網)を中心とした総合金網メーカー、奥谷金網製作所(本社・兵庫県神戸市、社長・奥谷智彦氏)は昨年12月、明石工場にアマダ製のファイバーレーザーパンチング複合機「EML-2515A」を導入した。投資額は約1億円で、同社にとつて初のファイバーレーザー機。これにより従来機と比較して加工速度は2.5〜4

奥谷金網製作所が導入

ファイバーレーザーパンチング複合機

明石工場の生産効率化

倍向上する。同機は板厚1ミリの前後の薄板専用パンチング加工を得意とするもので、多種多様な素材のパンチングメタル製造を効率化する。レーザー切断によって鋼板のダレや反りを防ぐだけでなく、アルミ・銅・真鍮など、鉄やステンレス以外の高反射材への複雑なカットが可能となる。また、レーザー出力費用は従来機比で半減。省エネ効果も見込まれる。同機の加圧能力は300kNで、レーザー出力は3千ワット。加工サイズは最大1525mm×3050mmまで対応している。同社は昨年から工場内設備の配置や動線など、レイアウトを見直している。明石工場は第1〜3工場まであり、同機が導入された第2工場にはほかに3台のアマダ製タレットパンチングマシンがある。第2工場を全てアマダ製のパンチングマシンに統一することで、マシン同士互換性のある設備設定や製造ラインを実現した。より細やかな需要に効率よく、迅速に対応できるとしている。

建材・土木向けの汎用品から一品一様の自動車・電機・食品・プラント設備などさまざまな産業向けにパンチングメタルを製造している同社は、「板金製造業でもアマダ製パンチングマシンを一つの工場に4台も設置しているのは珍しい。さらに3月には明石第3工場にトルンプ社製のパンチングマシンの増設を予定しており、こうした充実した設備でさらに幅広いユーザーニーズに応えていく」と話す。(奥谷社長)と話す。

OKS1895 総合金網・パンチングメタルメーカー
株式会社 奥谷金網製作所



認証事業所



神戸本社・明石工場・堺工場

2023年1月23日

- 神戸本社 ショールーム ミュージアム 〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町4丁目5-5 TEL(078)351-2531/FAX(078)361-1484
- 姫路営業所 〒670-0825 兵庫県姫路市市川橋通2丁目50-3 TEL(079)288-0458/FAX(079)288-2077
- 東京営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4丁目29-15-305 TEL(03)5812-7795/FAX(03)5812-7796
- 明石工場 〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町(神戸鉄工団地内) TEL(078)974-1907/FAX(078)974-1959
- 堺工場 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上460 TEL(072)361-9121/FAX(072)361-9122
- シカゴ事務所 Illinois, U.S.A. / デュッセルドルフ事務所 Düsseldorf, GERMANY



1895

Punching Man

https://www.okutanikanaami.co.jp

奥谷金網

検索



Amiru Chan